

こどもの発達支援事業

1 地域の課題（目指す地域の姿）

こどもの発達について不安があったり、保育所や幼稚園等の中で課題がある場合に、身近に相談をしたり子ども自身が学ぶ場所がありません。

そのため、地域に療育指導教室を設置し、子どもへの早期支援を図ることを目指します。

2 プロジェクトの概要

切れ目のない子どもへの発達支援の充実を図り、安心して子育てができる環境を作ります。

こども発達支援センターでは、幼児期（年中・年長児）における発達課題への相談・指導の充実を図ることを目的として、市内4カ所に療育指導教室を設置します。

幼稚園教諭・保育士・言語聴覚士など専門職を配置することで、集団参加や言葉の問題解決に向けた取り組みを行い、こどもの発達支援を行います。

3 企業様のメリット

その1：子育て支援を応援する企業様のイメージアップにつながります。

その2：広報もと、水戸市HPへ企業様のお名前を掲載します。

その3：水戸市長から企業様への感謝状贈呈式を行います。

その際に、マスコミ各社へプレスリリースを行います。

その4：療育指導教室内に企業様のお名前を掲示します。



療育指導教室
(幼児のことは・こころの教室)

水戸市では、市内に在住し、発達等に何らかの心配がある就学前の幼児の療育指導を一貫して行うため、療育指導教室を開校しています。

具体的には、次のようなお子さんが対象です。

- 発達が遅い
- ことばの理解が難しい
- ことばがうまく話せない
 - ・発音に誤りがある
 - ・話せることばの数が少ない
 - ・ことばがつかない
 - ・吃音がある
- 集団の中で、友達とうまくかわり合えない
 - ・一人遊びが多い
 - ・遊びのルールが分からない
 - ・トラブルが多い
- 落ち着きがなく、いつも身体がどか動いている
- 家では話をするのに、集団の中では話をしない
- なかなか興奮がおさまらないことがある
- 特定の物や行動、遊びなどに強いこだわりがある
- 興味があることなどを一方的に話す
- 予定が変わると混乱してしまう
- 乱暴な言動が、なかなかおさまらない

療育指導教室（幼児のことは・こころの教室）では、お子さんの発達の状況等を把握するとともに、保護者と相談したり、在籍園（所）や関係機関（医療・福祉・小学校等）と密接に連携したりしながら通所による指導を行います。

水戸市こども発達支援センター



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに

